

活動報告書

市町村（学校組合）名 学校法人名等	南国市立鷲ヶ池中学校
担当課・担当者職氏名	南国市教育委員会事務局学校教育課 指導主事 窪上 一人

テーマ	学校林を活用した森林環境教育		
学校名（学年）	南国市立鷲ヶ池中学校（全教生徒）	対象児童・生徒数	153人
概要及び実施内容	<p>1 目標</p> <p>(1) 学校林を活用した活動を通して「環境学習」を行う。 (2) 学校林を活用した活動を通して「地域との連携」を深める。 (3) 学校林を活用した活動を通して豊かな心を育てる。 (4) 「総合的な学習の時間及び教材」として学校林を活用する。 (5) 学校林での活動を通して伝統を受け継ぎ、歴史をつなぐ意識を育てる。</p> <p>2 活動内容</p> <p>(1学期) (2学期)</p> <p>※ 学校林（作業場）に行くまでの林道が崩れており補修する。</p> <p>【1年生】テーマ：学校林の整備と保全。 ①本校の学校林の歴史について、OBや地域の方々から話を聞き、伝統ある学校林活動の重みや価値を認識する。 ②間伐等の整備作業を通して、木を育てることの大切さや工夫を学ぶ。 また、その活動を通して互いが協力し合う。</p> <p>【2年生】テーマ：森林（学校林）の整備と保全。^(南喜ヶ峰) ①森林公園での学習を通して、自然環境や、森林との関わりについて理解を深める。 ②間伐材の活用と、木を活かした作品づくりをなかまとともに体験する。</p> <p>【3年生】テーマ：学校林の整備と保全。 ①間伐等の整備作業を通して、木を育てることの大切さや工夫を学ぶ。また、その活動を通して互いが協力し合う。 ②間伐材体験で切った木材を活用して学校環境の整備を行う。 ③これまでの学習を通して学んだことを、応募作文等により発表する。</p> <p>(3学期) 【1～3年生】テーマ：学習を振り返り、環境問題への取り組み等今後の活動につなげる。 ①学校林の散策や地域の施設等の見学を通して、次年度の学校林活動について考える。 ②山や植物に関係する施設を訪ね、自然と環境への理解を深める。 ③これまでの活動をふり返り、活動記録や想いをまとめる。</p>		
成果	<p>1・3年生は、学校林での間伐作業を行うことによって、互いに協力する喜びを感じ、作業前後の環境の変化を見て達成感を味わうことができた。特に1年生は、OBに直接学校林の歴史を話していただき、学校林活動の意義や、歴史について理解を深めることができた。</p> <p>2年生は、天候不良のため学校林には行けなかったが、南喜ヶ峰森林公園での環境学習や、廃材利用の作品作りを工夫・協力して行い、環境学習を深めることができた。</p> <p>どの学年も、今年度の活動が来年度以降も続いていくことを聞き、学校林への愛着がより強くなったようであった。</p>		

(注)

- 子どもたちの振り返り、授業で用いた資料、子どもたちの活動の様子を写真等で編集したもの等、活動日の取組状況及び参加者の様子が分かるものを学校単位（各計画毎）で併せて提出してください（様式任意）。印刷したものを添付のうえ、できるだけデジタルデータをメールにて提出してください。
- 活動報告書の内容および写真は、ホームページ、パンフレット等で公開する場合がありますので、写真等も含め、該当者への同意を得て作成してください。
- 事業を通じて得られた成果（児童・生徒の気づき、変化等）を簡潔に記載してください。

令和2年度 高知県山の学習事業実績報告書

南国市立鳶ヶ池中学校

1 目的

よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てる総合的な学習の時間の一環として位置づけ、歴史ある学校林の活用を通して、森林環境の大切さを学び、さらには地球環境問題に対する意識の高揚をめざすとともに、地域・保護者の理解と協力を得ることで、地域とのつながりを深め、ともに伝統を引き継いでいける生徒を育成する。

また、自然を通して命の大切さを学ぶことから、本校の人権教育の一環として豊かな心を育てていきたい。

2 事業実績

(1) 実績

- ① 学校林や甫喜ヶ峰森林公園での活動を通して「環境学習」を行った。
- ② 学校林や甫喜ヶ峰森林公園での活動を通して豊かな心を育てた。
- ③ 「総合的な学習の時間及び教材」として「学校林」を活用した。
- ④ 学校林の学習を通して伝統を受け継ぎ、歴史をつなぐ意識を育てた。
- ⑤ 間伐材体験をとおして森林や木に親しむとともに、間伐材を活用して作品を作った。

【1年生】 テーマ：学校林の整備と保全。

- ①本校の学校林の歴史について、清純寮でOBや地域の方々から話を聞き、伝統ある学校林活動の重みや価値を認識できた。
- ②間伐等の整備作業を通して、木を育てることの大切さや工夫を学ぶことができた。また、その活動を通して互いが協力し合うことができた。



【生徒の感想】

- いろいろと大変だったけど木を切るところとか見る事ができて良かったです。6, 70年くらいこの学校林活動が続いていることがすごいと思いました。
- 高知にはたくさんの自然があつてとってもすてきだと思いました。今、地球で温暖化が進んでいるけれど、この高知の豊かな木や山や森を大切に使いしていきたいなと思いました。
- 知らなかった木の種類を知れて良かったし、たくさん木を切れて良い経験ができました。学校林の話では、高知県は84%が山でできているということが知れて良かったです。たくさん木のことについて知れたし、ペアで協力して木を切るのも楽しかったです。
- 今は、新型コロナウイルスで大変な場面もあつたけど、クラスのみんなで木を切ったり、運んだり、仲間の絆がとっても深まりました。自分たちがこれからつないでいかないといけないんだと感じました。久しぶりに大きい自然とふれあえたので楽しかったです。これからも学校林を守っていききたいです。

【2年生】テーマ：森林（学校林）の整備と保全。

①森林公園での学習を通して、自然環境や、森林との関わりについて理解を深めることができました。

②間伐材の活用と、木を活かした作品づくりをなかまとともに体験することができた。また、その活動を通して互いが協力し合うことができた。



- のこぎりを使う機会があまりないので、今日のこぎりを使うことができて良かったです。最初はとても難しく、力もとても必要だったため、時間もかかったけど最後までやりきることに達成感を感じ、何事も最後までやるのが大事だと思いました。
- フォトフレームは自然の木や木の実を使い、いい思い出の作品ができました。のこぎり体験は初めてでとても大変なことだということをこの機会を通して知ることができました。また、日本や世界の森林の実態についても知ることができとても勉強になりました。
- この森林学習を通して、きれいな森林があることで土砂崩れなどを防いでくれていることを知り、自然の大事さを改めて実感することができた。
- ネイチャークラフトは、自然の木の実や枝を利用して、世界で一つだけの自分らしい作品をつくることができました。友達と考えあつたり、失敗したりいろいろと楽しかったです。

【3年生】テーマ：学校林の整備と保全。

①間伐等の整備作業を通して、木を育てることの大切さや工夫を学ぶ。また、その活動を通して互いが協力し合うことができた。

②間伐材体験で切った木材を活用して学校林の整備を行うことができた。また、その活動を通して互いが協力し合うことができた。



【生徒の感想】

- 初めての学校林でした。どんなことをするのか分からなくて少し不安だったけど、いざ作業をしてみると、とてもやりがいがあったし、きれいになったので良かったです。びっくりしたのは木を切ることは難しくて力のいる作業だと思いました。だから森林のきれいさを壊さないようにいろいろな山などを守って日々美しくしてくれている方に感謝したいです。
- 初めて木を伐採したけれど、すごく大変で力もいるし、どれだけ大変なのかが分かりました。でも、みんなと協力してやったら簡単に切れて。本当に貴重な経験ができました。山は自然に恵まれていて、行くときも、木を伐採しているときも、帰るときも、すごく空気がおおいかったです。みんなが汗をたらしながらも頑張っている姿を見ているときに、伐採してくれている人はどれだけ大変なんだろう、と思いました。自分自身もいろいろなことを知ることができ、たくさんの自然に恵まれながらいろいろなことをしてすごく楽しかったです。
- 学校林活動をして、今まで体験したことや見たことがなかったことをできて、とても貴重な時間になりました。特に、階段づくりの杭として使う木を切るとき、コツを見つけてできたので良かったです。そして、普段の学校生活の中では見られない、学年の友達の意外なところや、良いところを見つけることができました。それぞれが協力して活動できたので、すごく良かったです。
- 学校林活動を通して思ったことは、木を切ったりするのはあんなに大人数でやっても終わらないくらいだったので、森の「生きる力」はすごいと思いました。また、仲間と助けあうことはとても大切なことだと、あらためて学ぶことができたと思います。そう感じた理由は、木を切って下まで持って行くときに、一人だと大変だったと思いますが、二人で協力すると、時間を

無駄なく使うことができ作業もスムーズに行うことができたからです。仲間と協力することの大切さを身にしみて感じました。

3 成果と課題

1・3年生は、学校林での間伐作業を行うことによって、互いに協力する喜びを感じ、作業前後の環境の変化を見て達成感を味わうことができた。特に1年生は、OBに直接学校林の歴史を話していただき、学校林活動の意義や、歴史について理解を深めることができた。

2年生は、天候不良のため学校林には行けなかったが、甫喜ヶ峰森林公園での環境学習や、廃材利用の作品作りを工夫・協力して行い、環境学習を深めることができた。

どの学年も、今年度の活動が来年度以降も続いていくことを聞き、学校林への愛着がより強くなったようであった。

現2年生は、2年続きの悪天候のため、学校林での活動ができていない。歴史ある学校林での活動を体験できるよう、来年度は予備日を設けるなどして対応したい。また、今年度は清純寮に上がる道が土砂によって通れなくなったり（整備済み）、遊歩道が倒木のために通れない状態であるので、少しずつでも整備をしていく必要性を感じている。